

マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2022 年 3 月号

2022 年 3 月 2 日
(一財) マイクロマシンセンター
(<http://www.mmc.or.jp/>)

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例経済報告 より
 - ・内閣府公表 設備投資(機械受注統計調査報告) より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

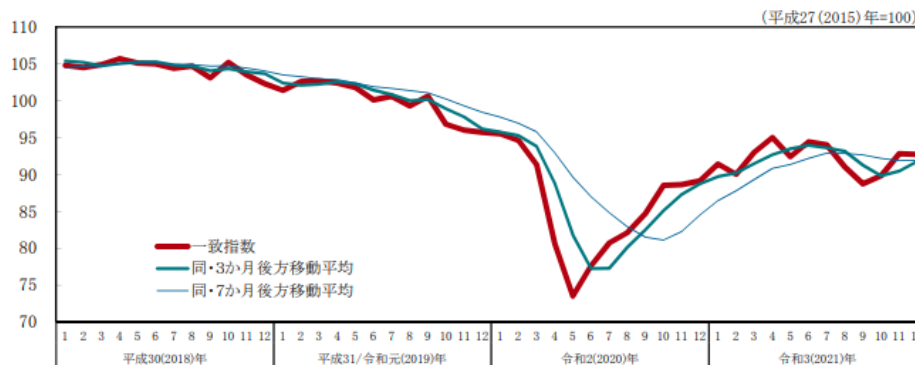
1. 全般動向

■ 景気動向指数(速報、改訂値)結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋) 令和 3 (2021) 年 12 月分速報からの改訂状況 (令和 4(2022)年 2 月 25 日発表) より

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202112rsummary.pdf>

- ① 12 月分 CI (平成 27(2015)年=100) (改訂値)は、
先行指数：104.8、一致指数：92.7、遅行指数：94.1
- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数 (C I 一致指数) は、足踏みを示している。

① 一致指数の推移



		令和3(2021)年					
		7月	8月	9月	10月	11月	12月
C I 先行指数		105.0	102.3	100.9	102.2	103.9	104.8
	前月差(ポイント)	-0.3	-2.7	-1.4	1.3	1.7	-0.9
C I 一致指数		94.0	91.0	88.7	89.8	92.8	92.7
	前月差(ポイント)	-0.4	-3.0	-2.3	1.1	3.0	-0.1
C I 遅行指数		94.8	93.7	93.4	93.1	93.3	94.1
	前月差(ポイント)	0.6	-1.1	-0.3	-0.3	0.2	0.8

▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和 3 (2021) 年 12 月分 (速報) (2 月 7 日公表)」 pdf：
(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202112psummary.pdf>
(公表資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202112report.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（2月）（内閣府、令和4年2月17日 公表）

（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/02kaigi.pdf>

<日本経済の基調判断>

（現状）【下方修正】

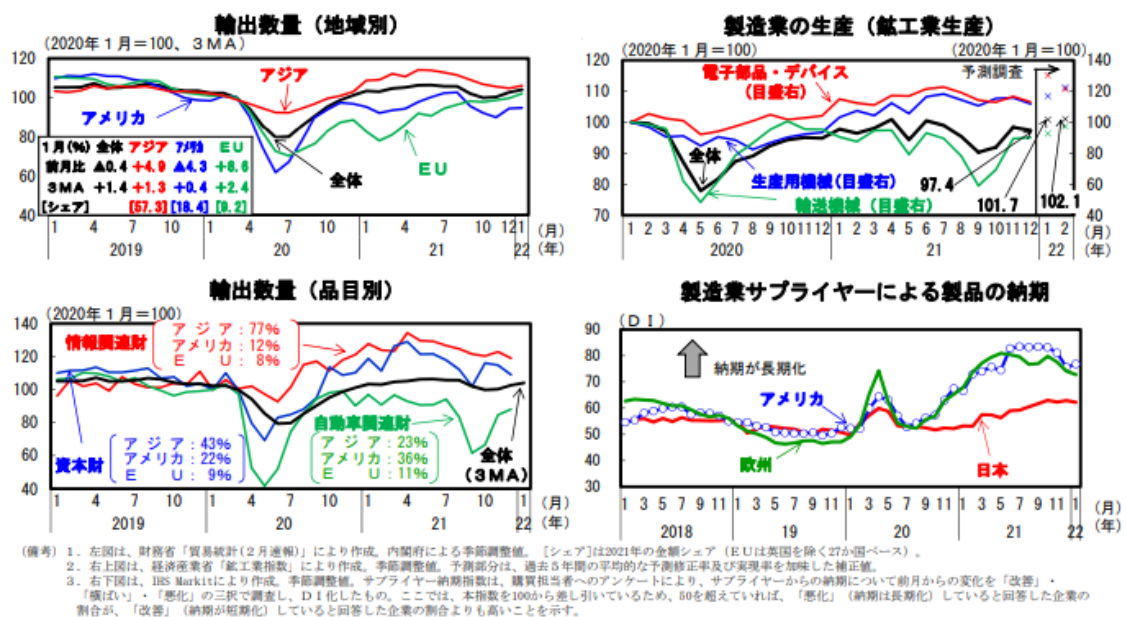
- ・ 景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。

（先行き）

- ・ 先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、感染拡大による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある

今月の指標(1) 輸出・生産

- ▶ 輸出は、概ね横ばい。中国を中心とするアジア向けが弱含む一方、アメリカや欧州向けは概ね横ばい。品目別では、自動車関連財が持ち直す一方、資本財や情報関連財が鈍化。
- ▶ 生産は持ち直しの動き。部品供給不足の緩和により、自動車等の輸送機械が持ち直し。生産用機械や電子部品・デバイスを中心に、先行きは増加が続く見込み。また、世界的に製品納期が長期化する中、我が国は、相対的に影響は小さいものの、供給面の制約には引き続き注視が必要。



- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」TOP ページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

- ▶ 内閣府「月例経済報告（令和4年1月）」（pdf）：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/0217getsurei/main.pdf>

■ 設備投資 令和3年12月実績：機械受注統計調査報告

(令和4年2月17日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

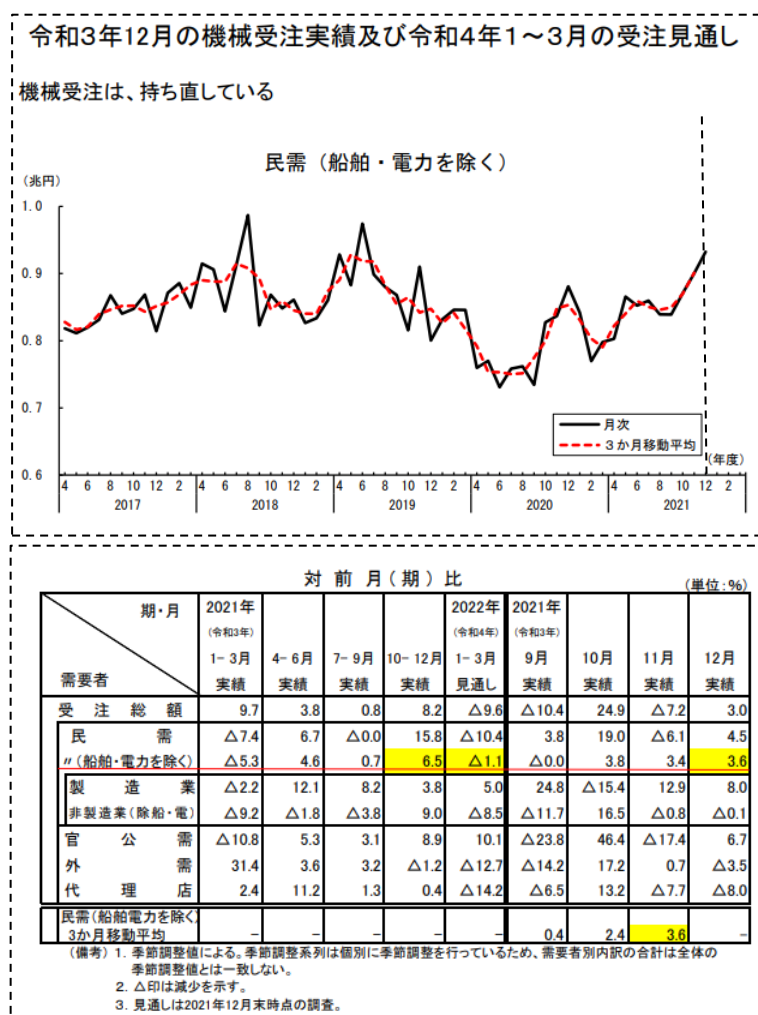
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2021/2112juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、
2021（令和3）年11月前月比7.2%減の後、12月は同3.0%増の2兆8,330億円となった。
2. 需要者別にみると、
民需は前月比4.5%増の1兆1,306億円、官公需は同6.7%増の2,853億円、外需は同3.5%減の1兆2,616億円、代理店は同8.0%減の1,130億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、
2021（令和3）年11月前月比3.4%増の後、12月は同3.6%増の9,324億円となった。
このうち、製造業は同8.0%増の4,798億円、非製造業（除く船舶・電力）は同0.1%減の4,654億円となった。

（以下図表は「令和3年12月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋）

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2021/2112gaiyou.pdf>



▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鋁工業指數(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～（経済産業省 2022年2月28日発表）

【2022 年 1 月分】 鉱工業指数の動向（速報）より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202201sj.pdf
- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015_202201sj.html

— 生産は持ち直しの動きがみられる —

- ・ 今月は生産、出荷、在庫、在庫率ともに低下であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、2月、3月ともに上昇を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は持ち直しの動きがみられる

・生産は、前月比-1.3%の低下。

低下業種：自動車工業、鉄鋼・非鉄金属工業、無機・有機化学工業等

上昇業種： 電子部品・デバイス工業、生産用機械工業、

化学工業（除、無機・有機化学工業・医薬品）等

・出荷は、前月比-1.8%の低下。

低下業種：自動車工業、輸送機械工業（除 自動車工業）、無機・有機化学工業等

上昇業種：生産用機械工業、石油・石炭製品工業、電子部品・デバイス工業等

・在庫は、前月比-1.8%の低下。

低下業種：自動車工業、石油・石炭製品工業、生産用機械工業等

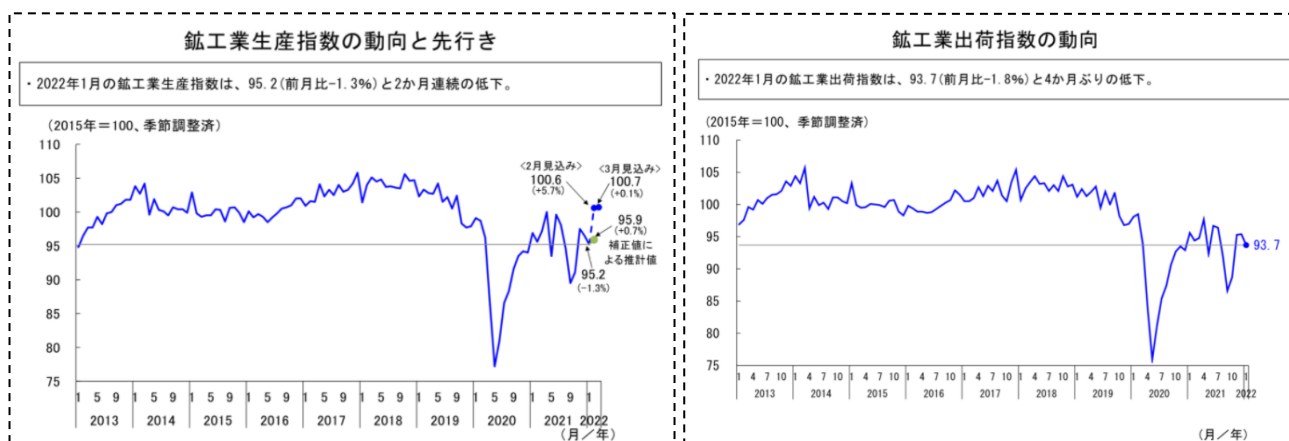
上昇業種：電気・情報通信機械工業、

化学工業（除、無機・有機化学工業・医薬品）、金属製品工業等

1月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20220228_1.html

(解説) 1月の鉱工業生産は、多くの業種で上昇した一方で、自動車工業で大幅に低下したことなどを受けて、全体として前月比マイナス1.3%と2か月連続の低下。基調判断は、「持ち直しの動きがみられる」に据え置き。



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

鉱工業指数（最新の）「結果の概要」：

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2022 年 2 月 28 日発表より抜粋)

【2021 年 12 月動向概況】

- ・ 2021 年度 12 月のグローバル出荷額は 3,725 億円、前年比 109.8%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比 115.2% 1,738 億円）、接続部品（同 109.1% 869 億円）、変換部品（同 103.6% 624 億円）、その他の電子部品（同 102.2% 492 億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比 122.3% 851 億円）、米州（同 120.5% 358 億円）、欧州（同 110.6% 301 億円）、中国（同 100.4% 1,409 億円）、アジア・その他（同 109.9% 798 億円）となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2022.02.28 発表：毎月更新)

電子部品出荷額（億円）		2021年度						2021年度累計	
		10月		11月		12月		4月-12月	
		金額(億円)	前年比（％）	金額(億円)	前年比（％）	金額(億円)	前年比（％）	金額(億円)	前年比（％）
世界計		3,623	109	4,043	116	3,725	109	32,918	121
（日本）		797	112	921	130	851	122	7,161	127
品 目 別	受動部品	1,707	117	1,861	121	1,738	115	15,573	126
	コンデンサ	1,253	118	1,370	123	1,273	116	11,399	126
	抵抗器	153	121	157	123	155	118	1,378	132
	トランス	35	112	40	123	39	123	324	121
	インダクタ	257	111	284	109	261	105	2,403	123
	その他	8	185	8	290	8	103	66	139
	接続部品	816	98	898	108	869	109	7,523	116
	スイッチ	311	87	346	97	327	97	2,869	106
	コネクタ	502	107	548	117	539	117	4,627	123
	その他	2	92	2	87	3	77	26	102
	変換部品	628	108	770	124	624	103	5,454	124
	音響部品	100	97	103	103	92	87	903	110
	センサ	216	101	225	100	219	97	1,986	116
	アクチュエータ	312	118	442	149	312	114	2,565	137
	その他の電子部品	470	101	513	105	492	102	4,365	109
	電源部品	199	119	210	121	207	122	1,791	125
	高周波部品	270	91	302	96	284	91	2,574	101

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2021年度»

地域別出荷金額 (億円)	2021年度						2021年度累計	
	10月		11月		12月		4月-12月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,623	109	4,043	116	3,725	109	32,918	121
日本	797	112	921	130	851	122	7,161	127
米州	345	106	376	122	358	120	3,170	129
欧州	321	98	371	112	301	110	2,987	127
中国	1,286	101	1,484	105	1,409	100	12,374	110
アジア他	867	124	883	122	798	109	7,201	129

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上